

取扱説明書

RDダクト(歩路用)

RDW-600(H)・900(H)-D

■ セット仕様および補強板の取付位置

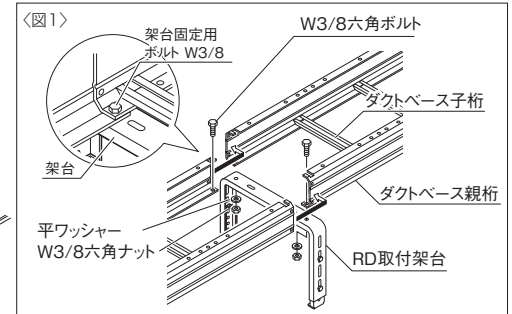
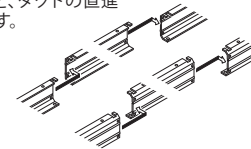
※セット仕様として、下表部品と歩路用フタが同梱されています。
ジョイント部補強板はジョイント部に使用します。

	2mダクト	1mダクト	0.5mダクト	0.3mダクト
600(H)タイプ				
フタ補強板	4本	3本	2本	1本
ジョイント部補強板	1本	1本	1本	1本
900(H)タイプ				
フタ補強板	4本	3本	2本	1本
ジョイント部補強板	1本	1本	1本	1本

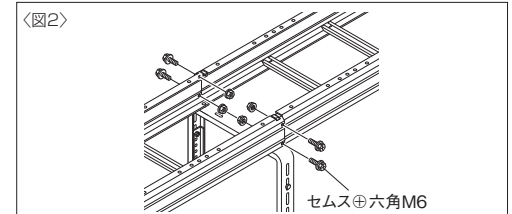
■ 施工手順

- 1 ダクトベース親桁の端部同士が20mm ずつ重なる様にはめ込み、ダクトベース親桁底部の重なった部分をW3/8六角ボルトで架台に固定します。〈図1〉

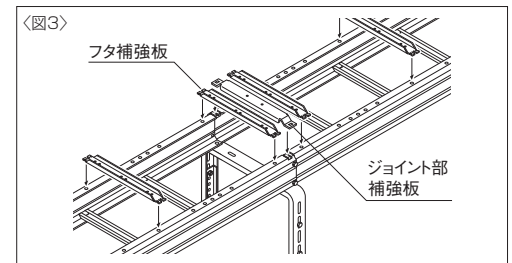
▶ここで、ダクトベース親桁の重ね方向を接続部毎に交互にしていくと、ダクトの直進性が保てます。



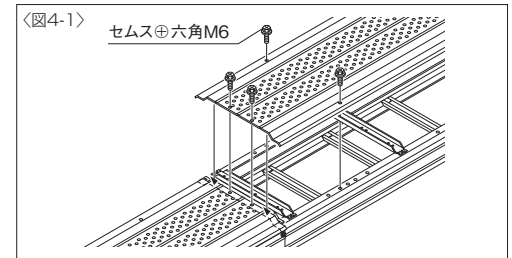
- 2 ダクトベース親桁の端部の重なった側面同士をビス止めします。〈図2〉



- 3 配管後、各補強板を取り付けます。取付位置は「フタ補強板取付位置」を参照してください。
接続部分のジョイント部補強板は、600～900Hのジョイントレス接続およびフリージョイントS/Hタイプを使用する場合に取り付けます。〈図3〉



- 4 フタを20mm重ねて取り付け、ジョイント部補強板に固定します。〈図4-1〉
(平面コーナーとの接続部では、直線ダクトのフタを上重ねた方がきれいに仕上がります)



- ▶フリージョイント(S/Hタイプ)使用時は、切断側のフタに接続用の穴(φ11)を開けて固定してください。〈図4-2〉

穴位置は非切断側のフタを一度上に重ね、マーキングして位置出ししてください。

